

一般質問

市政を問う!

定例会では、市政全般について議員から一般質問が行われます。今回は20人の議員が質問に立ち、35項目について市長らの対応を質しました。掲載内容は、その要約です。※発言順に掲載

会議録の
閲覧と検索

- 会議録は、5月下旬から、図書館、市政図書室で閲覧出来ます。
- 会議録検索システムは、5月下旬から、市議会のホームページから利用出来ます。

インターネット
中継

- 本会議の様子を市議会のホームページからご覧ください。
- 生中継は当日のみ。
 - 録画中継は、4日後(土曜・日曜日、祝日を除く)から。

公共施設に設置してある情報端末(パソコン)もご利用ください

- 設置場所…市役所本庁舎 1階市民相談室／七生支所／図書館／市政図書室／中央公民館／市立病院

【注】「会議録検索システム」「議会中継」は、スマートフォンやタブレット型端末などには、現在配信していません。

奥住匡人

(自由民主党)

な目玉の一つにならないか?

水と緑を生かした健康づくりから、地方創生の実現を①地方創生による地方版総合戦略策定への日野市の取り組みは?②水と緑という自然に恵まれた日野市ならばこそ、健康推進事業であるヘルスケア・ウェルネス戦略は、地方創生のための地方版総合戦略の大きな目玉の一つになれないか?

答 ①について問う。策定する戦略の方向性を踏まえ、今後、各団体との協議・調整の中で、新たな参加団体、要素を加える形で具体的な検討を進めていく考えです。

問 ②について問う。歩きやすい空間づくりの検討、「水都日野」構想実現に向け、意識せずにおのずと健康になるまちづくりを目指します。

鈴木洋子

(自由民主党)

人口減と高齢化対策、市の独自戦略を問う

問 補助金に頼らない、独自に進める施策を問う。

答 ヘルスケア・ウェルネスの視点は欠かせない戦略で、補助金の有無にかかわらず取り組みます。

問 学校の生活より一層の安全安心に向けて

答 現状の課題として認識している点と、今後の展開を問う。

問 校庭の表層劣化・砂じんが課題です。散水設備の設置、土壌改良の試行などに取り組みます。

谷和彦

(自由民主党)

軽度・中度難聴児の補聴器購入費助成制度の導入について

問 補聴器装用の効果について問う。

答 言語習得やコミュニケーション能力の向上などが図られます。なお、当市では、4月から補助事業を開始します。

問 口腔疾患の予防でヘルスケア・ウェルネス

答 市の見解を問う。

問 スポーツ推進に向けての環境整備について、強く進めていきます。

又戦略を前進へ

問 市の見解を問う。

答 高齢者の口腔ケアは非常に大切であるため、実施体制を整えたいと考えます。

大塚智和

(公明党)

インターネット・ラシー・情報マナーの取り組みについて

問 インターネット・ラシー・情報マナーの取り組みについて

答 学校での取り組みは、安全な使い方の指導を行っており、家庭へのPRも進めています。

問 消防団員数が条例定数を割り込んでいる。市全体で取り組むことが喫緊の課題ではないか。

答 入団促進のみならず、消防団の魅力の発信と創造、活性化に向けて検討を始めています。

問 消防団員の処遇改善を期待するが見解を問う。

答 報酬や出勤手当が多摩地域の平均以下であり、今後、改善を考えます。

古賀壮志

(自由民主党)

国産木材の利用促進について

問 市の取り組み状況と利用実績を問う。

答 日野市公共建築物等における多摩産材利用促進方針を策定し、ふれあいホール、第一中学校、ファームーズセンターなどで使用しています。

問 木材活用による健康施策への効能は。

答 転倒時のけがの防止やストレスを和らげるなどの効能があるため、地域密着型サービスなどの介護施設を公募する際は、選定の評価項目に加えることを検討します。

問 住宅マスタープランにおける国産・多摩産木材の位置付けはどうか。

答 今年度改定の住宅マスタープランの中で、環境配慮型住宅として利用促進を図ることとしています。都と協力し、普及やPRに取り組みます。

鈴木勝豊

(民主市民クラブ)

スクールゾーンについて問う

問 五小区域のスクールゾーンについて、指定する時間帯の見直しと、徐行通行を可能とする見直しが出来ないか。

答 周辺環境の変化を総合的に考えた上で、スクールゾーンのあり方を検討し、見直しに向け努力します。

問 マニユアル作成委員会の構成について問う。

答 さまざまな立場の方が加わることが、避難所運営マニユアルの充実につながると考えます。

梅田俊幸

(自由民主党)

今後の都市農業について

問 都市農業振興基本法の制定や、都の国家戦略特別区域に参加した場合の課題を問う。

答 第3次農業振興計画の改正、関係機関の機能強化など、都市農業を守る制度設計に努力します。

問 生産緑地指定の面積緩和、相続税納税猶予などの規制緩和は、長年の要望であり、都の提案は市にとってチャンスだと思いが、見解を問う。

答 都市農業の問題を解決出来る好機と捉えて、前向きに進めていきます。

問 生物多様性地域戦略推進事業に関連して、みづばちプロジェクトを参考にした施策展開の可能性を問う。

答 市内ではイチゴやトマトの受粉に蜂を活用している例があり、先行事例の情報収集に努めます。

大高哲史

(日本共産党)

誰もが住み続けられる日野市へ住宅問題からまちづくりを考える

問 斜面地や崖地などを危険な場所と認定し、宅地開発を規制すべきでは。

答 まちづくりマスタープランの趣旨と関係法令などを順守する中で利用を規制することは、財産権の観点から難しいと認識しています。計画の策定に向け、市も支援します。

問 まちづくりの観点から貧困に対する認識は。

答 (仮称)日野市居住支援協議会を設立し、住宅確保に配慮が必要な方への入居支援など、総合的な支援策を検討します。

峯岸弘行

(公明党)

東日本大震災から4年、日野市の防災対策と被災地支援について改めて問う

問 市の見解を問う。

答 市職員による災害支援PTの有効性について、調査研究をします。

問 市役所と支える日野市の認知症対策について

答 高照度街路灯を新設したほか、未設置箇所についても検討しています。

窪田知子

(公明党)

次世代につなぐ日野市の農業とまちづくりについて

問 農業体験農園の支援が重要だ。具体策を問う。

答 NPO法人との連携や、農家の不安解消などに積極的に取り組みます。

問 都市農業の変革期に、市はいかに対応するのか。

答 農業経営の強化と拡集・発信拠点となるプロジェクトを準備中です。

奥野倫子

(日本共産党)

「本の充実」と「学校司書」の配置は必須!子ども達が本好きになるよう学校図書館の整備を!

問 学校図書館司書の役割、資質を問う。

答 学校図書館の図書管理運営と、子どもたちの教育に必要な知識や技能のある教職員の一人として、学校図書館司教

中野昭人

(日本共産党)

子育て支援新制度施行に当たり子育て施策の一層の充実と改革を求める保育園待機児ゼロ、学童クラブ育成環境の改善、保育事業者の選定・補助金システムの改革を!

問 計画を抜本的に前倒しして待機児を解消して欲しいが、市の見解は。

答 平成27年度から5カ年で計画的に保育量を拡大しますが、全国規模で保育士の確保が課題です。

問 新制度で学童クラブに待機児は出ないか。

答 全員入所を維持し、ひのつち・児童館とともに放課後を支えます。

問 民間保育園への補助金問題を教訓に、保育事業者は公募で選考すべき。質の高いサービスを確保するため、民間保育園連合会の協力を得て選定していきます。

清水登志子

(日本共産党)

減少を続ける日野の農地をどう守るのか、農あるまちづくりの推進に向けた取り組みについて問う

問 市内の農地は、区画整理と相続を機に減っている。市の対策を問う。

答 相続税の猶予制度拡充を国へ要望するほか、農地の役割・機能の理解促進に努めます。

問 ひとり親家庭に対する手当の充実、安定した仕事の提供による所得の保障をすべきではないか。

答 がんばる子育て世帯応援事業経費を計上して、経済的支援を実施します。就労については、関係機関と連携して支援を行います。